

# 始めよう！ごみの20%減量



問い合わせ▶環境保全課(清掃事業所内)／☎(76)3053

## 焼却場がパンクする!?

近年、安城市では急激にごみが増えています。このままでは近い将来、焼却処理能力を超えて、ごみがあふれだしてしまい



燃やせるごみの約80%は生ごみと紙。これらはリサイクルが可能です。

## 燃やせるごみの約80%は生ごみと紙

20年で約2.5倍に…

| 年     | 焼却ごみの量                 |
|-------|------------------------|
| 昭和61年 | 2万4499トン<br>(13万4825人) |
| 平成8年  | 4万1929トン<br>(15万2022人) |
| 平成18年 | 6万1016トン<br>(17万4778人) |

※( )内は人口。

ます。今、一人ひとりが「ごみの20%減量」に取り組んで、増加に歯止めをかけることが必要です。  
※20%の目安は、一人一日120gです。



## 紙は資源

現在、焼却されている紙の中には、新聞紙・雑誌・雑がみなどが合わせて約1万3000トンあります。これらを地域の集団回収やリサイクルステーション

## 農家の皆さんへのお願い

畑で収穫した野菜などの余りや、調理から出た生ごみは、畑の肥やしとして還元するようにしてください。



## 生ごみもリサイクル

生ごみも、生ごみ処理機器やコンポスト容器を利用することでリサイクルが可能です。市では、設置に際して補助制度※を設けています。詳細は環境保全課へお問い合わせください。

※生ごみ処理機補助制度  
購入額の2分の1、上限額2万5000円(バイオ式は3万円・コンポストは5000円)を補助。

ンに出すことで、ごみの減量はもちろん、資源の活用による森林保護にもつながります。